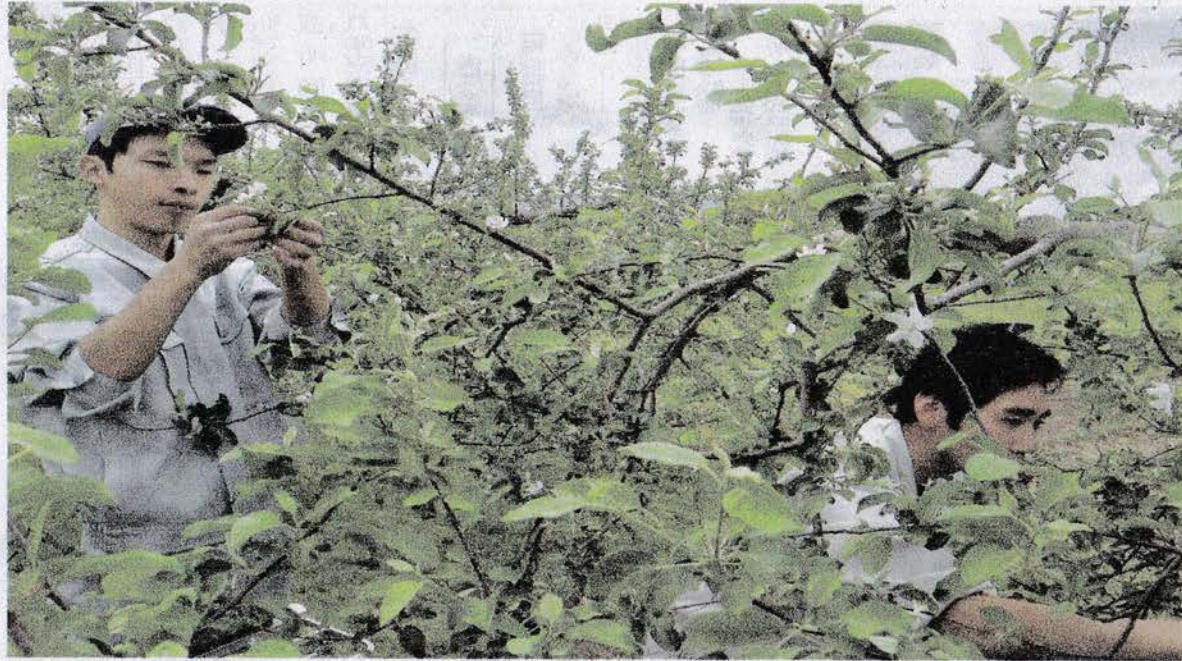


活躍中です「農援隊」

三本の木(南^部) 障害者ら作業補助

南部町のNPO法人「三本の木」(林悦子理事長)は昨年度から、就労継続支援サービスを利用する障害者が、町内外で農作業を手伝う活動を展開する。「農援隊」と称した活動で、若い担い手不足に悩む農家からは「体力のある人手が足りないの
で助かる」と好評。同法人も「利用者と共に地域に貢献できて
いる」と実感する」としている。

(福山拓司)



人手不足解消で地域貢献

利用者の仕事の増加、工賃向上につなげる狙い。「隊員」は現在知的障害、精神障害のある18〜56歳の男性7人、女性2人。法人スタッフ1人を含む4人1班で、果樹園の草刈り、刈り払った枝の片付けなどを請け負う。

町内にリピーターが多く、4月の作業日数は延べ42日で、前年同期の約2・5倍。口コミで広まり、田子町などからも依頼がある。

林理事長は「利用者は1年で作業に慣れ、成長した。微力だが、若い人手がほしい農家の役に立っているのでは」と目を細める。

南部町斗賀のリンゴ畑では13日、男性利用者3人が脚立に上り、高所の花を丁寧に摘み取っていた。作業を依

リンゴの花摘み作業に汗を流す利用者

頼した女性(左)は「高所作業は体力的にきつく、自分だけでは低い所ばかりになる。元気な人が来てくれて助かる」と話した。

青森県三八地域県民局農業普及振興室によると、県民局管内で、障害者が農作業を請け負える福祉施設・事業所は25施設。委託できる作業内容は、各施設で異なる。

農援隊に関する問い合わせは、同法人運営の産直施設・おやさいの集会所へ電話0178(60)5640へ。